

みんなで森林づくり よみがえれ！「野幌の森」

その後レポート No.2

平成22年5月19日

平成16年9月の台風により野幌森林公園で風倒被害が発生しました、これを受け「100年前の原始性が感じられる森林」を目標に『みんなで森林づくり

よみがえれ！「野幌の森」』と題して市民のみなさんと協働ですすめてきた森林づくり現地のその後をレポートします。

昨年 2 回目の下草刈をしました

昨年に引き続き平成21年度も市民ボランティアを募集し下草刈を実施しました。植栽木だけでなく自然に生えてきた稚樹も大事に育てるため、目印を付けながら作業をすすめました。

昨年は、生分解性のテープを使って地球に優しい？表示をしました。

6月上旬はスズメバチが巣作りをはじめめる時期と重なっているため、蜂対策としての防蜂網や防蜂手袋など付けて作業します。参加者は重装備に驚きながらも、「安心感がある」と好評でした。

下草刈は植栽木などが大きくなるまで今後も続けていきます。



草と一緒に切らないように印付



大鎌を持ち作業開始！

樹高単位：cm

植栽年度	平成17年				平成18年				平成19年		
	H18	H19	H20	H21	H18	H19	H20	H21	H19	H20	H21
トドマツ	35	59	80	105	43	57	84	112	40	40	48
エゾマツ	78	95	125	159							
アカエゾマツ	48	58	80	112							
ミズナラ	53	69	102	148	38	40	57	89	36	34	46
ハルニレ	72	114	143	183	39	72	104	141	54	60	79
ヤチダモ	77	105	127	183	66	86	119	138	48	61	66
イタヤカエデ	70	99	134	131	52	58	83	114	44	38	49
ヤマモミジ	53	76	66	98							
キタコブシ	63	79	82	109							
カツラ					75	97	108	156	48	42	58
平均	61	84	104	136	52	68	93	125	45	46	58

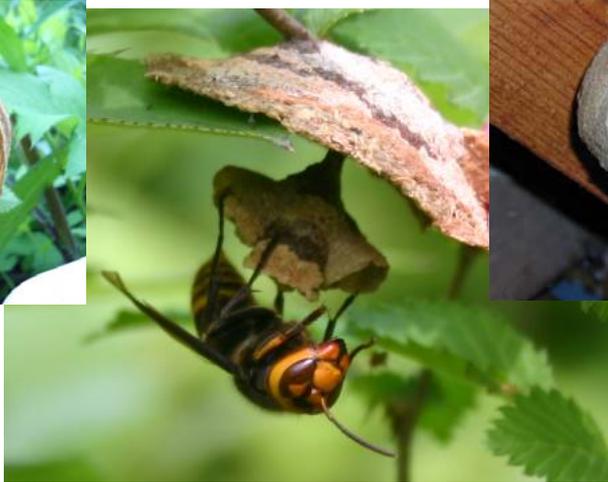
平成17年、18年、19年と3年間で植えた木も成長しています。

また、天然に生えてきたセンノキ、ウダイカンバ、シラカバ、コシアブラ、アサダ、ベニタヤ、キハダ、ニガキ、ホオノキ、ケヤマハンノキ、エゾノバッコヤナギなども目立つようになり、目標としている森林に、少しずつ近づいているように感じられます。

がんばるスズメバチ！ 応援はしないけど…



初期の様子



女王蜂が巣を製作中



この形になると働き蜂が出現！！

野幌に生息する「コガタスズメバチ」の巣作りの様子です。

まず、女王蜂が巣を作り、卵を産み付けます。そこから育った働き蜂が巣を守り大きくします。

「みんなで森林づくり」の下刈りは安全を考え、働き蜂が出現する前の時期に実施するよう計画しています。蜂は動くものを攻撃するので蜂の気配を感じたら、慌てて動かず、何の蜂がどのような状態か落ち着いて確認することが大切です。まず、相手を知ることです。

木だって少しくらい食べられても がんばる！



すっぱりウサギに切られました。



ウサギは削るように食べます。

雪解け頃の造林地は、ウサギやネズミに食われた痕が生々しく目につきます。それでも、芽生えの頃には緑の葉を広げ、たくましい生命力を感じさせてくれます。

今後は風雪など色々な苦難に耐えながらも伸びていくものと思います。皆さんも機会があれば植栽した苗木の成長を見に来てください。今年も下刈りを6月13日（日）、14日（月）に計画しております。森林の様子をみがてら是非ご参加ください。

石狩地域森林環境保全ふれあいセンター (http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/ishikari_fc)

〒064-0809 札幌市中央区南九条西二十三丁目1-10

TEL 011-533-6741 FAX 011-533-6743 E-mail h_ishikari_f@rinya.maff.go.jp